

5/15（水）の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 5月15日（水）10時00分

発表項目 （行事名）	道内自治体・事業者とともに地域課題の解決を目指す スタートアップの募集を開始！																		
記者レクチャー のお知らせ	（実施日時）	発表者																	
概要		発表場所																	
要	<p>STARTUP HOKKAIDO 実行委員会（事務局：北海道ほか）では、道内へのスタートアップ集積に向け、道内の自治体・事業者と連携し、道内の様々な課題について、国内外のスタートアップとの協業により解決を目指す行政オープンイノベーションプロジェクト「Local Innovation Challenge HOKKAIDO 2024」を実施します。</p> <p>この度、道内自治体・事業者とともに地域課題の解決を目指すスタートアップの募集を開始しますので、お知らせいたします。</p> <p>【募集概要】</p> <table border="1"> <tr> <td>募集テーマ</td> <td>一次産業、環境・エネルギー、食、観光、宇宙及び自由提案（ただし北海道の地域課題解決に資するもの）</td> </tr> <tr> <td>参加資格</td> <td>先進的な技術やアイデアを有し、地域や行政課題の解決策を持つスタートアップ</td> </tr> <tr> <td>募集期間</td> <td>令和6年5月15日～10月31日 ※応募のあったものから、随時審査を実施し選考します。</td> </tr> <tr> <td>応募方法</td> <td>下記の特設サイトよりご応募ください。 URL：https://startuphokkaido.com/support/754</td> </tr> <tr> <td>採択件数</td> <td>10～13件程度</td> </tr> <tr> <td>選考基準</td> <td>提案された内容について、以下の観点で審査を行います。 ① 社会的インパクト（地域・行政課題の解決に資するか） ② 事業の成長性（競争優位性を持っているか） ③ 創造性（地域・行政ニーズに応えたソリューションを提供できるか） ④ チーム体制（実行力のあるチームかどうか） ⑤ プロジェクトへのコミットメント（実現に向けて熱意を持って取り組めるか）</td> </tr> <tr> <td>選考後の流れ</td> <td>選考通過企業から順次、自治体・事業者とのマッチング調整を行い、実証実験を実施</td> </tr> <tr> <td>成果発表会</td> <td>令和7年3月上旬（札幌市内にて開催予定）</td> </tr> </table> <p>・主催：STARTUP HOKKAIDO 実行委員会 ・運営：Local Innovation Challenge HOKKAIDO 事務局（(株)D2 Garage）</p>			募集テーマ	一次産業、環境・エネルギー、食、観光、宇宙及び自由提案（ただし北海道の地域課題解決に資するもの）	参加資格	先進的な技術やアイデアを有し、地域や行政課題の解決策を持つスタートアップ	募集期間	令和6年5月15日～10月31日 ※応募のあったものから、随時審査を実施し選考します。	応募方法	下記の特設サイトよりご応募ください。 URL： https://startuphokkaido.com/support/754	採択件数	10～13件程度	選考基準	提案された内容について、以下の観点で審査を行います。 ① 社会的インパクト（地域・行政課題の解決に資するか） ② 事業の成長性（競争優位性を持っているか） ③ 創造性（地域・行政ニーズに応えたソリューションを提供できるか） ④ チーム体制（実行力のあるチームかどうか） ⑤ プロジェクトへのコミットメント（実現に向けて熱意を持って取り組めるか）	選考後の流れ	選考通過企業から順次、自治体・事業者とのマッチング調整を行い、実証実験を実施	成果発表会	令和7年3月上旬（札幌市内にて開催予定）
募集テーマ	一次産業、環境・エネルギー、食、観光、宇宙及び自由提案（ただし北海道の地域課題解決に資するもの）																		
参加資格	先進的な技術やアイデアを有し、地域や行政課題の解決策を持つスタートアップ																		
募集期間	令和6年5月15日～10月31日 ※応募のあったものから、随時審査を実施し選考します。																		
応募方法	下記の特設サイトよりご応募ください。 URL： https://startuphokkaido.com/support/754																		
採択件数	10～13件程度																		
選考基準	提案された内容について、以下の観点で審査を行います。 ① 社会的インパクト（地域・行政課題の解決に資するか） ② 事業の成長性（競争優位性を持っているか） ③ 創造性（地域・行政ニーズに応えたソリューションを提供できるか） ④ チーム体制（実行力のあるチームかどうか） ⑤ プロジェクトへのコミットメント（実現に向けて熱意を持って取り組めるか）																		
選考後の流れ	選考通過企業から順次、自治体・事業者とのマッチング調整を行い、実証実験を実施																		
成果発表会	令和7年3月上旬（札幌市内にて開催予定）																		
報道（取材） に当たって のお願い	道内にスタートアップを集積するための取組です。道内外から多くのスタートアップに参加いただけるよう、周知のご協力をお願いいたします。																		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	（場所）																	
担当 （連絡先）	経済部産業振興局スタートアップ推進室（担当者：長崎、山口） TEL ダイヤルイン 011-204-5336 内線 26-878																		

【特設サイト
QRコード】

スタートアップ募集中！



Local Innovation Challenge HOKKAIDO 2024

北海道での事業展開を目指すスタートアップ対象のオープンイノベーションプログラム

募集期間 2024. **5.15** 水 » **10.31** 木

応募フォームは
こちら！



北海道を舞台に自治体・事業者とスタートアップの協業により地域課題の解決を目指す
STARTUP HOKKAIDO主催 オープンイノベーションプロジェクト



北海道内の自治体・事業者と連携し、道内の様々な地域課題について、国内外のスタートアップとの協業により解決を目指す行政オープンイノベーションプロジェクト「Local Innovation Challenge HOKKAIDO 2024」を実施します。



主催：STARTUP HOKKAIDO実行委員会
運営：Local Innovation Challenge HOKKAIDO事務局 ((株)D2 Garage)
お問い合わせ：lich@startuphokkaido.com



 <p>Amaterz Inc.</p>	<p>タフなIoTセンサー「tukumo（つくも）」による障害環境の可視化。データを活用した管理方法を提案</p> <p>駅の健康管理において温度と変位は重要であり、暖房効率を保ちつつ換気をすすめる方法が求められている。本実証実験では、土別市の中多量環境の協力のもと、駅舎内でも使用できるIoTセンサー「tukumo」を設置し、温度や二酸化炭素、アンモニア濃度を測定して換気ムラを可視化。このデータを使って効率的な換気方法を検討し、電費費を節約しつつ駅の健康確保につながる方法を提案。解析したデータはスマートフォンで確認できるため、手軽に管理できる。</p>
 <p>Spatial Pleasure</p>	<p>バスのモーダルシフト効果によるCO2削減貢献量の定量化</p> <p>Spatial Pleasureでは、エリアの脱炭素化に寄与する交通事業者に対してカーボンクレジットの認証・計測のサポートを行うDMRY（measurement, reporting and verification）ソリューションを開発している。じょうてつバスが運行することによるモーダルシフト効果（環境負荷の小さい交通手段への転換）によって、創出されているCO2削減貢献量を定量化することにより、カーボンクレジットの認証可能性を検証する。</p>
 <p>Archeda</p>	<p>衛星データを活用した森林資源量推定</p> <p>釧路市は、全国第8位（2023年市町村別林野面積）の林野面積を有しているものの、既存の森林調査等では、自然現象による森林の新植や枯損等の偏りなどにより、正確な資源量を把握できていないケースがあるといった課題が存在する。本実証では、衛星データを活用し、釧路市森林の皆伐予定地の森林資源量の推定を行い、実際に伐採後の実材量と比較を実施した。現在は、現地調査が主な手法となっている中で、森林資源の高精度化やリスクの削減を目指す。</p>
 <p>KAMAR</p>	<p>株式会社カマン： Hokkaido Innovation Weekにてリユース容器実証実験</p> <p>2024年1月29日から2月2日にかけて開催された国際スタートアップ・カンファレンス「Hokkaido Innovation Week」にて、会場に設置したリユース容器「Magloo」（メグルー）を導入し、持続可能なイベント運営を全国的にサポートした。Opening PartyやTechHQ Sapporo、Networkingのワークショップやドリンク提供において、Maglooを利用することで、約1900個の使い捨て容器の削減、約60kgのプラスチック容器削減、そして約300kgのCO2削減を行った。</p>
 <p>ZEROSPEC</p>	<p>ゼロスペック株式会社： 自動発注配送管理システムを活用した灯油配送効率化</p> <p>自動発注配送管理システム「GenOW」は灯油タンクに設置した「スマートオイルセンサー（SOS）」で残量を遠隔監視し、クラウド上に送られたデータから自動で配送計画を作成・指示することができる。今回の実証実験では、スマートオイルセンサーが提供するデータを活用し、灯油供給のスケジュールを最適化するとともに、配達時のCO2排出削減及び発注業務の最適化に繋げるためのデータを取得を行う。</p>
 <p>SPOBY スポビー</p>	<p>株式会社スタジオスポビー： アプリケーションを活用した市民の健康増進と炭素削減</p> <p>札幌市内において2024年2月1日～2月29日の1ヶ月間「さっぽろ ウェルネス&ゼロカーボンウォーク」を開催。市民を対象にエコライフアプリ「SPOBY」を導入し、日常の活動量及びCO2排出削減量を可視化し、アプリ上に表示されるポイントに応じた特典を提供。特典の提供において道内外5社と連携し、2024年3月2日に札幌市民交流プラザ内SCARTSモールにて特典参加者に手渡す「特典プレゼント会」を開催。</p>
 <p>PoliPoli</p>	<p>株式会社PoliPoli： 政策共創プラットフォームを用いて広聴の仕組みをアップデート</p> <p>行政が、市民の満足度の高い施策を実現するためには、市民の声を政策に反映させることが必要なもの、従来のパブリックコメント等では、十分に市民の声を得ることができない等の課題がある。株式会社PoliPoliの政策共創プラットフォーム「PoliPoli Gov」を用いて、広く意見募集を行い、また集めた意見の分析まで実施することで、広聴における行政の負担を少なくしながら、行政と市民が政策を共創できる新たな仕組みの実現を目指す。</p>
 <p>Simplee</p>	<p>株式会社Simplee： 育児と勤務の両立を支援するDXソリューションSimplee</p> <p>札幌市男女共同参画センター主催の女性起業家イベントで「まるで言い事！育児のある出張育児Simplee」と題し、「育児と勤務の両立支援の予約システム」、「AIによる最適化された人材派遣」を活用した出張育児サービス提供を実施。</p>
 <p>HELLO WORLD!</p>	<p>HelloWorld株式会社： 世界の教室をつなぐEdTechツール「WorldClassroom」による授業DX</p> <p>【2024年度実施予定】「WorldClassroom」によって世界中の教室をオンラインで繋ぎ国際交流を実現し、最新の音声認識技術を活用したスピーキング練習機能によって授業にDXをもたらす。教員の業務負担軽減をする。北海道大学構内で、地域の外国人と英語でミッションをクリアしていくフィールド型国際交流「まちなかログイニング」も実施し、オンラインからオフラインへの一貫したグローバル人材育成を推進する。</p>
 <p>forent</p>	<p>forent株式会社： 遊休地活用モデルケース創出及びキャンプ場開発/運営</p> <p>【2024年度実施予定】南幌町の遊休地活用を通して、様々な地域の方々と連携し、「キャンプ×地方創生」に取り組み、地域経済の活性化に寄与する新たな体験価値の提供をする。プログラムを通して、事業者・自治体と連携を行い、自社のこれまで蓄積したアセットを有機的に活用し、北海道の遊休地を活用したキャンプ場の開発を行い、地域の魅力を発信する拠点作りの検証をする。</p>
 <p>any style</p>	<p>株式会社anystyle： VTuberによる自治体の観光情報・地場産品のプロモーション企画の実現</p> <p>【2024年度実施予定】次世代のインフルエンサーとして若者を中心に人気を集めるVTuberを複数名起用し、自治体のPR発信としてライブ配信やSNSで地域や地場産品の魅力を発信する企画を行う。VTuberがPRした地場産品は購入ノベルティをつけてECで販売し、地場産品の売上拡大にどれだけ寄与できるか検証する。</p>
 <p>humorous</p>	<p>株式会社humorous： 高輝度発光素子を使用した非電力の新しい観劇体験と空間演出</p> <p>【2024年度実施予定】発光素子としてのLEDは不要だが、電源なしでも遠くまで光を届かせられないかという中間のニーズに、高輝度発光素子を使用したソリューション「ナイトコンシェルジュ」で解決を試みる。新穂津村に新たに開業した「しんしめつ天文台」では、この技術を用いた観劇専用サインやエスコート用の新型3Dモデルを採録設置し、来場者への夜間の安全誘導と星空鑑賞を損なわない空間演出を試みる。</p>